

## 森ビルの親子向け体験活動プログラム「ヒルズ街育プロジェクト」 文部科学省「青少年の体験活動推進企業表彰」受賞 出張授業とオンラインプログラムそれぞれで「継続学習」の仕組みを確立

森ビル株式会社実施する親子向け体験活動プログラム「ヒルズ街育プロジェクト」が、文部科学省主催「青少年の体験活動推進企業表彰」の審査委員会優秀賞を受賞しました。

同表彰は、「社会貢献活動の一環として、青少年の体験活動に関する優れた実践を行っている企業を全国に広く紹介することにより、青少年の体験活動の機会を推進すること」を目的として、2013年度より実施されています。この度当社が受賞した審査委員会優秀賞は、文部科学大臣賞に次ぎ、優れた活動を実践している企業に与えられるものです。

＜過去の受賞実績＞ 審査委員会優秀賞(令和2年度、3年度)、審査委員会特別賞(平成26年度)、  
審査委員会奨励賞(平成27年度、29年度、30年度、令和元年度)



＜本物の街「ヒルズ」を舞台に展開＞



＜五感を刺激する体験型オンラインプログラム＞

＜地元小学校との  
年間を通じた街の学習＞

＜ヒルズ街育プロジェクトとは＞（後援：文部科学省、港区教育委員会）

創業から60年にわたり地域の方と共に街づくりを推進してきた当社が、未来を担う子どもたちに、街づくりのノウハウや街の魅力を伝えるとともに、楽しく学びながら次世代の都市のあり方を考える機会として実施しています。六本木ヒルズ、アークヒルズなどの当社が開発・運営する実際の“街”を舞台に、当社が街づくりで大切にしている「安全・安心」「環境・緑」「文化・芸術」をテーマとした多様な体験型プログラムを展開。一般公募によるプログラムだけでなく、近隣小学校のカリキュラムの一環として当社施設への受入や小学校に出向いて行う出張授業の実施など、地域コミュニティにおける子どもの学習機会の提供にも貢献しています。なお、2007年の開催以降、延べ16,000名以上の方々にご参加いただいています。

森ビルは今後も引き続き、本物の“街”を“生きた教材”として活用した体験活動を積極的に推進し、未来を担う子どもたちの無限の可能性を拓きながら、また子どもたちと共に学びながら、「都市の未来」を切り拓いてまいります。

【本件に関するお問合せ先】

森ビル株式会社広報室 田部・田村

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : koho@mori.co.jp

## (参考) ヒルズ街育プロジェクト「継続学習」の仕組み確立

### 1. オンラインを拡充し、街づくりの社会的な3つのテーマを題材にしたプログラムを確立

コロナ禍を受け、通常のリアル開催が叶わなかった前年度に、「安全・安心」をテーマとしたオンラインツアーを初開催。当年度は、このツアーを継続開催しつつ、「環境・緑」「文化・芸術」の2テーマで新たにツアーを開発し、当社が街づくりで大切にしている社会的な3つのテーマを題材としたオンラインプログラムを確立しました。また、単発のツアーに参加して終わりではなく、新たに「自分の街でのフィールドワーク」「オンラインコミュニティでの相互コミュニケーション」をプログラムに盛り込み、街づくりの総合的な学習を提供し、継続的に子どもたちの成長に寄り添うことに注力しました。

#### <プログラム参加者の声>保護者の約8割が子どもの成長を実感

アンケートでは94%が「満足」と回答。子どもからは「自然のある街づくりをもっと知りたいから、調べていきたい」「街の見え方が変わった！こういうものがあったら良いなど考えるようになった」などのコメントが挙がりました。また、保護者の約80%が「ツアー後に子どもの成長を感じた」と回答。「創造的な思考力」「進んで参加する態度」「多面的・総合的に考える力」について、それぞれ約70%・約60%・約50%の方が、能力向上に寄与したと回答しました。



「紙ぶるる」で揺れ実験



ローズマリーの香り体験



「アート」を持ち寄り、互いに紹介

### 2. 地元小学校との出張授業を年間プログラム化

港区立御成門小学校で、より良い街づくりのために自分たちができることを考え、進んで街づくりに関わろうとする意識を育成するために、年間を通じて出張授業を実施しました。5年生の授業では、小学校の近隣で当社が推進中の「虎ノ門・麻布台プロジェクト」を題材に、再開発事業の意義や仕組みを学び、フィールドワークでは、地域のコミュニティ活動にも参加しました。まとめの授業では、「課題を解決して、より良い街にするために自分たちに出来る取り組み」についてアイデアを出し合い、「街の未来マップ」を制作。みんなの前で発表し合いました。「街の未来マップ」は、地域のコミュニティスペースに展示し、期間中に訪れた地域の方々に、感想やコメントを「街の声」として残してもらい、子どもたちの継続的な学びへのモチベーションに繋げました。

さらに、6年生の授業では、各人の興味分野をさらに探求していき、森ビル社員への質問授業を経て、研究テーマをまとめました。皆の前で発表を行い、成果物は地域の図書館に展示しました。



「街を創る」「街を育てる」を学ぶ



フィールドワーク



グループ毎に発表

### 3. 街育プロジェクトをきっかけに森ビルグループ全体で年間1800回2万2000名を受け入れ

森ビル初の子ども向け施策として、2007年に「ヒルズ街育プロジェクト」をスタート。その後、知見やノウハウを社内に水平展開し、2008年には六本木ヒルズの入居企業や出店店舗とコラボレーションした「キッズワークショップ」を初開催。法律事務所のスタッフが講師となり模擬裁判を体験したり、コーヒーショップの店員にレクチャーを受けながら仕事体験をしたり、街を運営する当社だからこそ持つ様々なリソースを活用した多様な学びの場を提供しています。現在は六本木ヒルズだけでなく、森美術館や表参道ヒルズなど、その展開は各施設にも広がり、コロナ禍前の2019年度には、森ビルグループ全体で年間約1800回、約2万2000名が参加しました。当社は、未来を担う子どもたちへの学びの機会の提供について、全社を挙げて取り組んでいます。